

# 第1学年 生活科学学習指導案

1 単元名 「とびだせ あそびたいあき」

2 活動づくりにあたって

＜こんな子どもだから＞

本学級の子どもたちは、1学期の単元「なかよしいっぱい だいさくせん」や「とびだせ あそびたい」で、校庭やなかよしたんぼ・校区の公園に出かけて遊んだり、プールでやごやあめんぼうを捕り、孵化するまで育てたり、あめんぼうの赤ちゃんが生まれてしばらく育てたりしている。

自然への興味・関心が高く、校庭では、見つけた木の葉で草笛をつくったり、摘んだ草花でミニブーケを作ったり、土を掘ってありを捕まえたりと、意欲的に活動することができた。また、見つけた虫のことをカードに書いて「土を掘ってみたらたくさんありがいたよ」とか、「手にのせるとすぐに動いて分からなくなるのでふくろに入れて逃げないようにしたよ」「虫からかまれて痛かったよ」など、自分と虫との関わりについての気づきをカードに書くことができている。

公園では、土から出てきて孵化する前の蟬に出会い、感動するとともに、昼休みは、数人で蟬の動きを見つめ楽しそうに関わっていた

活動のあとには、家から虫取り網や虫かご・カップなどを持ってきて、虫や草花を集めては、友だちに知らせている子も数人見られた。その後、休み時間にも、校庭で虫探しをしたり、放課後にも公園へ行き、捕まえた虫を教室につれてきたりと、意欲的に自然に関わっている様子がみられるようになってきている。

＜こんな教材で＞

大楠は、都会の中であり、校庭や通学路などには、大きな楠や街路樹が多く見られる。1学期の学校探検や公園で生き物や草花を見つけては、友だちに見せたりして楽しむ活動をしてきている。そこで、秋の校庭や公園で見つけた自然物の特徴を生かして遊びを創り出す楽しさや遊びを工夫すること、友だちとよりよい関わりがもてるようになることをねらいとした活動を構成した。

まず、通学路や校庭で見つけた草花や木の葉・木の実などを、朝のスピーチタイムで紹介したり「みつけたよマップ」に記入したりすることで、身近な自然への関心を高め、たくさん見つけたいという意欲を持たせたいと考える。

次に、「あきをみつけて あそぼう」の活動を行う。秋になって変化した自然や身の回りの様子に気づき、見つけた物を発表する中で「もっと 秋を見つけて遊ぼう。」という意欲をもたせ、秋の遠足へいく。たくさん木の实や種が子ども達にとっては、すてきな秋のたからものになると考える。

また、教室に採取した種や木の実を紹介するコーナーを作り見せあうことにより活動を広げていきたい。

さらに、「あきのたからものでつくってあそぼう。」の活動をする。そこでは、どんなものを作りたいのか、どんな遊びをしたいのか自分のこだわりがはっきりしてくるとのではないかと思われる。この中で、同じ物を作っている子供同士でグループを作ることさらに、活動に浸ることができると思う。

さらに「あきのたからものランドで いっしょにあそぼう。」を行い、ほかのグループとの交流活動の場を設定し自分や友だち活動のよさや友だちと関わって遊ぶ楽しさに気付かせたい。また、「こんなもの工夫したよ」と発表し合うことで、自分の活動のよさに気付くと共に、友だちの考えや工夫を知ることが出来るようにすることによって、活動の充実感を味わうことができるようにする。

### 3 こんな子どもの姿をめざしたい

○校庭や校区近辺にある秋の自然に関心を持ち、進んで落ち葉や木の実を集めたり、集めた物で楽しく遊ぼうとする。 【生活への関心・意欲・態度】

○身の回りの自然や身近にあるものを使うなどして、遊ぶ物や飾る物を作ったり、遊びを工夫したりして、みんなで楽しむとともに、それを表現することができる。 【活動や体験についての思考・表現】

○身の回りの自然や身近にある物を使い、秋の自然物の特徴をいかした遊びの楽しさや友だちと遊ぶと楽しさに気付くことができる。

○自然と関わって活動することのできた自分の成長に気付くことができる。

【身近な環境や自分自身への気付き】

< そのために、こんな方法で >

(1) 子ども思いや願いが連続発展するために

○単元との出会わせる活動では

夏に行った公園で遊んだ楽しさを想起しやすいように、子どもたちが、葉っぱや虫取りをしている姿の写真を提示しておく。1学期と同じ校区の公園や田んぼに出かけていくことで、季節の変化を意識づけていきたい。また、教室を秋の雰囲気にしておき、「秋見つけたよコーナー」を提示することで、自分たちも秋の自然物を集めたいという意欲を持たせる。さらに、「秋の宝物入れ」を作って、校庭や公園に秋を探しに行きたいという気持ちを高める。

次に、公園で思い切り遊び、公園から帰った後も、振り返りながら遊ぶことにより、秋の遊びへの思いや願いを持たせるようにする。また、秋の素材を十分に集めることによって、遊びの発想を促して行きたい。

さらに、遊びの本や図鑑を紹介したり、友だちが遊んでいる様子を提示することで、秋遊びへの意欲を高めさせていきたい。

○つかむ活動では

「秋見つけ」で集めた木の実やなどで遊び始めた子や遊びにつながる発言をした子を賞賛したり、見つけた秋の素材からできる遊びを考え紹介し合うことで、秋の自然物で遊びができることに気付かせていく。さらに、秋の遠足で鴻ノ巣山に行き、そこにある自然で思いっきりの秋を楽しむ。見つけた秋の素材に十分さわり出来た遊びを紹介しあうことで、自分ももっと作って遊びたいという、思いや願いを膨らませていく。

○深める活動では

遊びの工夫に気付きを広げ深めていくために、子どもがどんな思いで何を作りたいのか対話によって思いを聞いていく。うまく考えがもてない子には、友だちから教えてもらうような声かけをしたり、友だちのよさに気づいた子に賞賛の言葉かけをしていく。また、秋の自然物をつかった遊びでは、遊び別に場作りをして、同じ思いの友だちとの関わりができるようにして、一人遊びからグループの遊びへと発展させたい。

○広げる活動では

「秋の宝物ランド」で子どもたちが作った遊びの宝物をお互いに交流する活動を行い、子どもが遊びの中で努力したことやこだわったことなどを褒めたり賞賛することで、満足感や達成感をえられるようにする。

(2) 対象への気付きを深めたり、自分の成長を自覚する振り返りの活動の工夫

○活動毎に必ずふりかえり活動の場を設定する。そこで出された気付きを教師が価値付けし、まわり子どもたちにも広げて行きたい。「ふりかえりカード」に子どもの気付き残していく。「ふりかえりカード」は、自分が工夫したことやがんばったこと、困ったこと、次にしたいこと、の観点で書かせるようにする。カードには、子どもが遊びの中で努力したことやこだわっていることを、教師が励ましたり褒めたりコメントで評価することで意欲を認めたり気付きをたしかにさせたい。

また、活動の最後に振り返りの時間を設定することで自分自身を振り返ったり、友だちどうしでの関わりが深まったことなどについて気付くようにしていきたい。

5 本時 平成 年 月 日 ( ) 5校時 13:55~14:55 (60分 授業)

多目的ホール

## 6 本時の目標

- 学校や公園・秋の遠足で見つけた木の葉や木の実などを使って、さらに楽しい遊びにするために、工夫して遊ぶことができる。 (13/17)

## 7 本時指導の考え方

- ① 前時までには子どもたちは、集めた木の葉や木の実などでつくりたい物をつくったり、遊んだりしてきた。その中で、友だちの作品を見たり、本を見たりして「もっと、うまくできるようになりたい。」「もっと、きれいにつくりたい。」「もっと仲間をふやしたい。」という思いを持ち、一人の遊びからペアやグループの遊びに発展してきている。

前時では、友だちと一緒にさらに楽しくしたいという思いや友だちと一緒に遊びたいという思いを設計図に表し作り始めている。

- ② 本時は、友だちとともに思いを共有しながら、今まで作ったものを合体してさらに大きな物をつくったり、遊び方の工夫をたりしてグループの遊びをさらに広げていきたい。

本時までの遊びの工夫とは、遊ぶ人数が増えたり、遊び場が広がったり、遊びの種類が増えたり、材料がふえたり、遊ぶ物がふえるたりすることと考えている。

まず、前時までの活動を簡単にふり返り、今日のめあて「もっと たのしいあそびになるように工夫しよう。」を確認する。その際、前時の「ふりかえりカード」に工夫したことを書いている子や友だちとの関わりの楽しさを書いている子に発表させ、「もっとたのしい」の内容について確認する。(①遊びがうまくいく② 数をふやす ③ 大きくする ④ 付け加える ⑤遊びのルールを決める ⑥いろいろな材料を使うなど)

次に、グループのコーナーごとに分かれて、さらに楽しい遊びになるように計画書をもとに活動していく。教師は、グループを巡視しながら工夫をしている子や熱中して一生懸命作っている子、友だちと楽しく作っている子に賞賛の声かけをしていく。また、上手く作れないで困っている子やアイデアが浮かばない子にはアドバイスをしていく。また、友だちとの関わりから工夫が生まれるように友だちの作品を参考に出来るようにしていく。

また、遊びの作品や、遊び方・作り方のヒントになる資料・写真掲示をするなどしてグループのコーナーの近くに置いて、遊びが連続発展できるように働きかけをする。

最後に、今日の学習のふり返りをする。「ふりかえりカード」を書かせる。何人かに発表させる際、子どもの気付きを価値付け、分かりやすく板書して、クラスの子どもたちに広めるようにする。

「ふりかえりカード」には、たのしかったかどうか簡単に図で示し、そのわけを書くようにする。さらに、次にしたいことや、準備することの観点で書かせ、次の活動の意欲につなげたい。

## 8 準備

- 教師・・・支援計画表、活動の支援に必要な物、資料、写真、接着剤など

- 児童・・・木の実 木の葉 自分が作る計画に沿って必要な物 前時までのふりかえりカード  
筆記用具

4 活動の流れと評価・支援計画 (全17 時間)

段階	活動のねらい	子どもの活動の姿	評価基準と見取りの方法	支援												
つかむ 5時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 意欲的に秋を見つけることができる</li> <li>○ 秋を見つけ思い切り遊ぶことができる。</li> <li>○ 集めた秋や楽しかったことを発表し、次にしたいことを決めることができる。</li> </ul>	<p><b>秋になってきたね。秋を見つけて遊ぼう。②</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・秋を見つけに公園へ行く。</li> </ul> <table border="1" data-bbox="578 273 1469 409"> <tr> <td>色がきれいな葉っぱをみつけたよ</td> <td>なつにいたせみがないね</td> <td>なつにきたときよりもなんだかすずしい風がふいているよ</td> <td>虫が鳴いている声があるよ</td> </tr> </table> <p><b>あきをみつけたよ。鴻ノ巣山でもっと秋を見つけて遊ぼう②</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・もっと、秋見つけをする中で、思いっきり遊ぶことができる。</li> </ul> <table border="1" data-bbox="578 483 1469 598"> <tr> <td>しいのみがたくさんあったよ</td> <td>落ち葉がいっぱいで地面がふかふかで気持ちいいね</td> <td>しいのみの帽子もかわいいな</td> <td>松ぼっくりも見つけたよ</td> </tr> </table> <p><b>見つけた秋で遊びを考えよう。①</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見つけた秋を発表し、つくりたいものを考える。</li> </ul> <table border="1" data-bbox="578 672 1469 808"> <tr> <td>〇〇くんがどんぐりでこまをつくっていたよ。どんぐりごまであそびたいな</td> <td>どんぐりをつないでネックレスをつくりたいな</td> <td>木のみでマラカスをつくりたいな</td> <td>葉っぱをはって洋服をつくりたいな</td> </tr> </table> <p><b>見つけた秋でこんなことしたいな</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・集めた木の実や木の葉でどんなものがつくれるか。どんな遊びをしたいか考える。</li> </ul>	色がきれいな葉っぱをみつけたよ	なつにいたせみがないね	なつにきたときよりもなんだかすずしい風がふいているよ	虫が鳴いている声があるよ	しいのみがたくさんあったよ	落ち葉がいっぱいで地面がふかふかで気持ちいいね	しいのみの帽子もかわいいな	松ぼっくりも見つけたよ	〇〇くんがどんぐりでこまをつくっていたよ。どんぐりごまであそびたいな	どんぐりをつないでネックレスをつくりたいな	木のみでマラカスをつくりたいな	葉っぱをはって洋服をつくりたいな	<p>[関心・意欲・態度] 1学期の活動や草花・虫探しについて進んで見つける計画を立てることができる。 画を立てることができる。 (発言行動)</p> <p>[気付き] 秋になって変化した自然や身の回りの様子に気付くことができる。 (発言・行動・つぶやき・カード)</p> <p>[気付き] 鴻巣山で落ち葉をふむ音や感触を楽しんだり落ち葉や木の実を探している。 (発言行動)</p> <p>[思考・表現] これからしたい遊びを考えることができる。 (行動観察・発表・ふりかえりカード)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 保育園や幼稚園の時、秋で遊んだ経験を、アンケートで把握しておく。</li> <li>○ 学習に入る前に、教室に秋の雰囲気にしておき、先生からもらった山のおみやげ(どんぐり)知らせることで自分達も秋を見つけたいという思いを持たせる。</li> <li>○ 夏との違いに気付かせるためにや1学期の学校探検や公園で遊んだ時の写真を準備する。</li> <li>○ 「秋みつけコーナー」に見つけた秋を貼ったり置いたりできるようにして秋への関心を高める。</li> <li>○ 見つけた秋で遊びはじめた子を紹介したり、遊んでいる子の写真を提示したりして、遊びの参考にする。</li> <li>○ 「秋と遊ぼう」コーナーを作り、遊びの本や図鑑・写真を置くなどして、作って遊びたいという気持ちを高める。</li> </ul>
色がきれいな葉っぱをみつけたよ	なつにいたせみがないね	なつにきたときよりもなんだかすずしい風がふいているよ	虫が鳴いている声があるよ													
しいのみがたくさんあったよ	落ち葉がいっぱいで地面がふかふかで気持ちいいね	しいのみの帽子もかわいいな	松ぼっくりも見つけたよ													
〇〇くんがどんぐりでこまをつくっていたよ。どんぐりごまであそびたいな	どんぐりをつないでネックレスをつくりたいな	木のみでマラカスをつくりたいな	葉っぱをはって洋服をつくりたいな													
ふかめる 9時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 木の実や木の葉を使ってつくりたい物を作ることができる。</li> <li>○ 友だちと一緒に協力して、秋のたからもので、遊びものや遊び方を工夫することができる。</li> </ul>	<p><b>木の葉や木の実を使ってつくりたい物を作ろう。③</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・木の実や木の葉で遊び物をつくる。</li> </ul> <table border="1" data-bbox="578 1060 1469 1197"> <tr> <td>どんぐりごまを作ろう。なかなか上手くまわらないな。</td> <td>どんぐりをつなげて作ろう。穴を開けるところをよこにしたら上手くつながったよ。</td> <td>どんぐりのパジャマを作っているよ。うまくとんだよ。</td> </tr> </table> <p><b>こんなふうにしたらうまいくかな。</b></p> <p><b>もっと楽しい遊びにしよう。⑥</b> (遊び物コーナー) (秋の飾りコーナー) (どんぐり人形)</p> <table border="1" data-bbox="578 1354 1469 1575"> <tr> <td>もっとよくまわるどんぐりごまを作ろう。</td> <td>まつぼっくりのけん玉は楽しいよ</td> <td>飾りや服を作ったよ。</td> <td>どんぐり人形をもっとふやそう。</td> </tr> <tr> <td>どんぐりごま広場を作って競争しよう。</td> <td>糸の長さやまつぼっくりの大きさを変えて作ってみよう。</td> <td>一緒に作ってファッションショーをしようよ。</td> <td>友だちと合わせてどんぐり広場をつくろう。</td> </tr> </table> <p><b>みんなで作ったものをみせあいっこしたいね。</b></p>	どんぐりごまを作ろう。なかなか上手くまわらないな。	どんぐりをつなげて作ろう。穴を開けるところをよこにしたら上手くつながったよ。	どんぐりのパジャマを作っているよ。うまくとんだよ。	もっとよくまわるどんぐりごまを作ろう。	まつぼっくりのけん玉は楽しいよ	飾りや服を作ったよ。	どんぐり人形をもっとふやそう。	どんぐりごま広場を作って競争しよう。	糸の長さやまつぼっくりの大きさを変えて作ってみよう。	一緒に作ってファッションショーをしようよ。	友だちと合わせてどんぐり広場をつくろう。	<p>[関心・意欲] 落ち葉をふむ音や感触を楽しんで木の葉や木の実を探している。 (行動・発言)</p> <p>[思考・表現] 秋の贈り物を利用して、遊んだり製作したりすることができる。 (行動・表現)</p> <p>[思考・表現] 友だちと関わりながら、工夫して作ったり遊んだりすることができる。 (行動・表現物)</p> <p>[気付き] 友だちとの関わりやすさや遊び方の工夫に気付くことができる。(行動・発表・カード)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 道具の使い方をていねいに指導し安全に作業できるようにする。</li> <li>○ 素材にふれながら遊んだり、作ったりしながら必要な材料や用具を考えられるように参考例を提示する。</li> <li>○ 遊びの活動場を「～コーナー」とし、教えあったり遊びの広がりができるようにしていく。</li> <li>○ 「どんぐり広場」や「ゲームコーナー」などの実物や写真など提示することによって、一人ではできない物や友だちと協力できる遊びを促していく。</li> <li>○ 友だちとの関わりで、工夫していたり、こだわりがあったりしたことをふりかえりカードにコメントし賞賛していく。</li> <li>○ 活動の終わり事に振り返りの時間を持ち、次時の活動に意欲を持たせる。</li> </ul>	
どんぐりごまを作ろう。なかなか上手くまわらないな。	どんぐりをつなげて作ろう。穴を開けるところをよこにしたら上手くつながったよ。	どんぐりのパジャマを作っているよ。うまくとんだよ。														
もっとよくまわるどんぐりごまを作ろう。	まつぼっくりのけん玉は楽しいよ	飾りや服を作ったよ。	どんぐり人形をもっとふやそう。													
どんぐりごま広場を作って競争しよう。	糸の長さやまつぼっくりの大きさを変えて作ってみよう。	一緒に作ってファッションショーをしようよ。	友だちと合わせてどんぐり広場をつくろう。													
ひろげる 3時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分たちの遊びを自信を持って紹介し、友だちと楽しく遊ぶことができる。</li> <li>○ 自分や友だちの活動のよさに気付くことができる。</li> </ul>	<p><b>「あきの たからものランド」で みんな一緒に遊ぼう。②</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ランド作りをする 1時間</li> <li>・グループ内で2組前半・後半に分かれて遊ぶ。</li> <li>・楽しかったことをカードに書く。</li> </ul> <p><b>今までの活動をふりかえろう。①</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・秋の宝物を使って、自分ができるようになったことに気付き、これからは自然を使った遊びを楽しんでいきたいという思いをもつ事が出来る。</li> </ul>	<p>[気付き] 自分や友だちの活動の良さががんばりに気付くことができる。 (発言・カード)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 楽しく遊ぶための工夫をしたり、改善をしながら活動できるようにグループごとに支援をしていく。</li> <li>○ ほかのグループで遊ぶことによって、自分や友だちの活動のよさにき気付くことができるようにする。</li> <li>○ 遊びかたの説明をしながら楽しく遊べるようにする</li> <li>○ 教師は活動の様子などを観察し、対話や声かけを行いこれまでの気付きや活動の良さを価値付けていく。</li> </ul>												

「とびだせあそびたいあき」11月 日  
児童の今日したいことと教師の支援計画

評価基準〔思考・表現〕 さらに楽しくなるように工夫して遊ぶことができる。  
A: 友だちと関わりながら、さらに楽しくなるよう工夫して遊んでいる。  
B: さらに 楽しくなるように工夫して遊んでいる。

はっぱのつり	どんぐりめいろ	森のみち・ 森のけっこんしき	どんぐりごま やじろべえ	けんだま	ファッションショー
むずかしく、たくさんつくって、みんなにしようかいする ※かんばん	どんぐりタワーのつづきをしてつなげる	森のみちをかいこうさんとおおせくんとでたくさんつくる	どんぐりごまをふやしてみんなにしようかいする	けんだまのどんぐりが4こくっているをつくる	ようふくをつくってファッションショーをする
さかなつりをもっとふやしてつりのるーるをきめる	くんとつなげてどんぐりゆうえんちを大きくする	くんとつなげて大きくする	やじろべえのかずをふやす	けんだまのでペーぱーのしんにまつぼっくりをつけてむずかしくする	ネックレスをふやしてはではでにする
いちょうのはっぱやきれいなはっぱでさかなをふやす	どんぐりめいろをむずかしくする大きくする	どんぐりランドのだいをつくる	こまをつくる ※自分でつくったもので遊べるように1個はつくれるように一緒につくる	けんだまにえをかいたのしくする	ゆびわをつくる
くんといっしょのをつなげる ※ざいりょうのかくにんをする	くんとどんぐりめいろをつなげてしあげる	ちゃんとわたしのをもっと大きくする ※かんばんでみんなに知らせるように	がっきをふやす(たいこ) ※きれいに色塗りをするよう促す		
つりがたくさんできたことを賞賛していく	どんぐりをころがしててんすうゲームをつくる ※こまを作ることと点数をきねることを確認	ちゃんとつなげてもっと大きくする	かざりのブランコをつくる	けんだまのかずをふやす	けんだまをつくる ※うまくつくれるように君に教えてもらうようにする。

<コーナー配置図>

はっばのつり

けんだま

アクセ  
サリー  
フアツ  
ション  
ショー

ど ん ぐ  
り め い  
ろ

ゆ う え  
ん ち

ど ん ぐ  
り ご ま  
ろ  
や じ ろ  
べ え

森の  
みち  
森の  
けっこ  
んしき

本時の展開

学 習 活 動 と 子 ど も の 姿	評価基準と見取りの方法	支 援
<p>1, 本時のめあてをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>《めあて》 あきのたからものでもっと たのしく あそぼう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちのグループで作るものや遊びを想起する。</li> <li>・作るときに気をつけることを想起する。</li> </ul> <p>2, 各グループに分かれて、計画に沿って作ったり遊んだりする。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="width: 30%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>どんぐりごま せえのでまわしてどっちがながくまわるかやるよ</p> </div> <div style="width: 30%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>どんぐりめいろ つくっためいろをこうかんしてあそびたいな</p> </div> <div style="width: 30%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>おちばのしんけい すいじゃく がようしにはっぱをつけてたくさんつくりたいな</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="width: 30%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>じくをみじかくしてみようかな</p> </div> <div style="width: 30%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>はっぱのつり うまくかかるようにくふうしてみよう</p> </div> <div style="width: 30%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>おなじはっぱのカードがでたらいいよ。</p> </div> </div> <p>3, 今日の活動で気づいたことを振り返り、発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今日の活動で気が付いたことをカードに書く。</li> <li>・今日の活動で気が付いたことを発表する。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="width: 30%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ともだちにおしえてもらったのでうまくつくれたよ</p> </div> <div style="width: 30%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>いっしょに競争したらたのしかったよ</p> </div> <div style="width: 30%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ともだちのをみたらつくってみたいものがあったよ</p> </div> </div> <p>4, 次時の活動について、グループで話し合う。</p>	<p>〔思考・表現〕 木の葉や木の実の特徴を生かし、自分なりの発想や方法で作ったり遊んだりすることができる。 (発表・カード)</p>	<p>○前時までの活動を想起できるように遊びの写真やカードを提示しておく。</p> <p>○各グループが、作ったり遊んだりすることを板書しておく、今日の学習を確認する。</p> <p>○安全に製作できるように、道具の使い方を掲示しておく。</p> <p>○前時までの活動の様子や計画のカードから見取ったことを基に子どもへの発問・声かけ等の支援計画を立て、各グループ</p> <p>○必要に応じて、本や道具・材料などの準備をしておく。</p> <p>○遊ぶ場・作る場をわけ</p> <p>○遊びの工夫が広がったり、つくった物が、さらに楽しくなったりしたことに、気づくように、板書していく。</p>

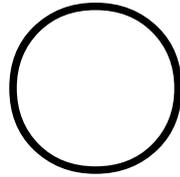
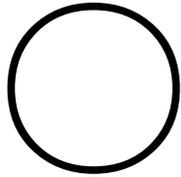
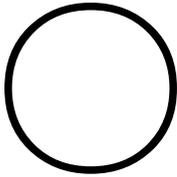
学習活動と子どもの姿	評価基準と見取りの法	支 援
<p>1, 本時のめあてを確認する。 めあて <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">もっとたのしいあそびにしよう。</span></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 15px; padding: 5px; width: 15%;">                 どんぐりごまをもっとたくさんつくって競争したいな             </div> <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 15px; padding: 5px; width: 15%;">                 どんぐりパークをもっとにぎやかにしたいですにぎょうをふやします。             </div> <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 15px; padding: 5px; width: 15%;">                 きょうも○○さんといっしょにつくってあそびたいです。             </div> <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 15px; padding: 5px; width: 15%;">                 まつぼっくりやどんぐりのけんだまをもっとふやしたいです。             </div> </div> <p>2, もっと楽しい遊びになるように作って遊ぶ。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 15px; padding: 5px; width: 15%;">                 どんぐりごまの競争ができるようにやり方を考えよう。             </div> <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 15px; padding: 5px; width: 15%;">                 まつぼっくりやどんぐりのけん玉の糸の長さや入れ物の形や数をかえよう。             </div> <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 15px; padding: 5px; width: 15%;">                 どんぐりパークはぶらんこやシーソーをふやしてにぎやかにしたいな。             </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  </div> <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 15px; padding: 5px; width: 15%; margin-left: auto; margin-right: auto; margin-top: 10px;">                 飾りや服ができたので、見せ合いっこができないかなファッションショをやりたいね。             </div> <p>3, 今日の活動で楽しかったことや、気づいたことを発表する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 15px; padding: 5px; width: 15%;">                 いろいろなけん玉をつくったのでたのしかったよ。             </div> <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 15px; padding: 5px; width: 15%;">                 ○○くんが作り方を教えてくれたのでとても楽しかったよ。             </div> <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 15px; padding: 5px; width: 15%;">                 この次は、もっと～をしたいので○○をもってきたいです。             </div> </div> <p>4, ふりかえりカードを書く。 ・遊びの工夫をして楽しくできたか。・・・そのわけ次にしたいことも書く。</p>	<p>〔思考・表現〕</p> <p>さらに楽しくなるように工夫して遊ぶことができる。 (発表・カード)</p> <p>A : 友だちに進んで関わりながら、さらに楽しくなるように工夫して遊んでいる。</p> <p>B : さらに楽しくなるように工夫して遊んでいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 対話によって何でどんな遊びをしたいのか思いを把握しておく。</li> <li>○ 友だちの良さに気づくようにするために前時のふりかえりカードから紹介する。</li> <li>○ 活動が広がるように、テーブルを準備し、グループ別コーナーの場を作っておく。</li> <li>○ 遊び方や作り方のヒントになるような本や写真などを、コーナーの近くに掲示しておく。</li> <li>○ 活動するとき、気をつけること、どんぐり穴開け機やきりの使い方・置き場所については普段から確認しておく。</li> <li>○ 教え合ったり、助け合ったりしている子を賞賛していく。</li> <li>○ アイデアが浮かばない子には、本や写真・友だちの作品などを参考にするように声をかけたり、一緒に考えたりする。</li> <li>○ ふりかえり活動での、子どもの気づきを価値付けわかりやすく板書してクラスの子も達へ広げる。</li> <li>○ 遊びの工夫や教え合っているところを紹介し、気づきを広める。</li> </ul>

とびだせあそびたい あき

ふりかえりカード ( ) がっ ( ) にち

なまえ

きょうのがくしゅうは



・ わけをかきましょう。

-----

-----

-----

# とびだせあそびたい あき

ふりかえりカード

( )月( )日

なまえ

## 1, きょうのがくしゅうは

それは,

---

---

---

---

## 2, つぎにしたいことは, なんですか。

---

---

---

---

---

## 3, じゅんびするものは, なんですか。

---

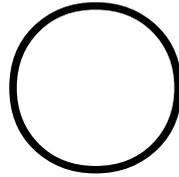
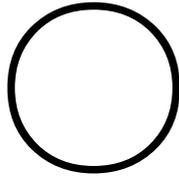
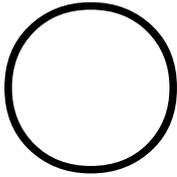
---

とびだせあそびたい あき

ふりかえりカード ( ) がっ ( ) にち

なまえ

とびだせあそびたい あきの学しゅうはどうでしたか。



とてもたのしかった たのしかった たのしくなかった

・たのしかったこと・みつけたことをかきましょう。

-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----